

連合静岡
「2022年個別貸金実態調査」報告

連合静岡

目 次

調査実施の概要	1
Ⅰ. 連合静岡全体の概況	5
1. 2022年調査における賃金実態	5
2. 年齢別賃金階級別にみた人員分布	9
3. 回帰分析とは	15
Ⅱ. 年齢ポイント別平均賃金	17
1. 性別	17
2. 業種別	18
3. 規模別	19
4. 地域別	20
5. 2021年調査との比較	21
Ⅲ. 「賃金構造基本統計調査・静岡」の結果	24
1. 賃金構造基本統計調査にみる静岡の概況	24
2. 性別	26
3. 業種別・製造業の場合	27
【参考 連合静岡と賃金センサスの比較】	28
参考 非正規社員組合員の賃金	29

調査実施の概要

1. 連合静岡「個別賃金実態調査」とは

本調査の目的は、①主要な労働条件である賃金水準について「個別賃金実態調査」を通じて地域に波及できる精度の高い数値を示すことにより「組合員 20 万人の賃金地図を作ろう」運動を社会運動化すること、②「組合員 20 万人の賃金地図を作ろう」が社会運動として認識される事で労働組合の存在意義を高め、1,000 万連合に向けた組織拡大の一翼を担い、働くことを軸とする安心社会の創造に繋げることを目的として、取り組んでいる調査である。

なお、本調査は、「構成組織を通じ毎年9月末日を期限として」実施され、当年12月提出分で集計および分析を行っている。

2. 調査項目およびデータの整理

調査項目は、「性別（男性、女性）」、「学歴（中卒、訓練校卒、高卒、専門学校卒、短大・高専卒、大卒、大学院修了）」、「年齢」、「勤続年数」、「基本賃金」、「所定内賃金」の6項目である。ただし、集計にあたっては、『2023 地域ミニマム運動：2022 年個別賃金実態調査』との整合性を鑑み、下記の項目についてデータの整理と補完を行っている。

○学歴構成は、「中卒」、「高卒（訓練校卒含む）」、「短大・高専卒（専門学校卒含む）」、「大卒・大学院修了」、「不明」の5区分に再整理した。

○勤続年数の記入がないケースについては、『地域ミニマム運動・個別賃金実態調査』から算出した年齢ポイント別平均勤続年数を代入した。

○賃金額の集計には、「所定内賃金」を活用しているが、所定内賃金のないケースについては「基本賃金」を代用した。

○参加組合の属性データから、業種を3区分（製造業、交通・運輸業、商業・サービス業）、企業規模を4区分（99人以下、100～299人、300～999人、1,000人以上）、地域を4区分（東部、中部、西部、その他）にそれぞれ分類し、集計を行うこととした。

なお、業種については、もともと10業種に区分されており、製造業は「金属」、「化学・繊維」、「食品」、交通・運輸業は「交通・運輸業」（a：生コン製造販売輸送、b：ハイヤー・タクシー、c：トラック輸送、d：鉄道・バス、e：その他）、商業・サービス業は「資源・エネルギー」、「サービス・一般（公務）」、「情報・出版」、「商業・流通」、「保険・金融」、「建設・資材・林産」からそれぞれ構成されている。

○本報告で用いている平均値とは、とくにことわりのない限り「単純平均」によって算出した数値である。

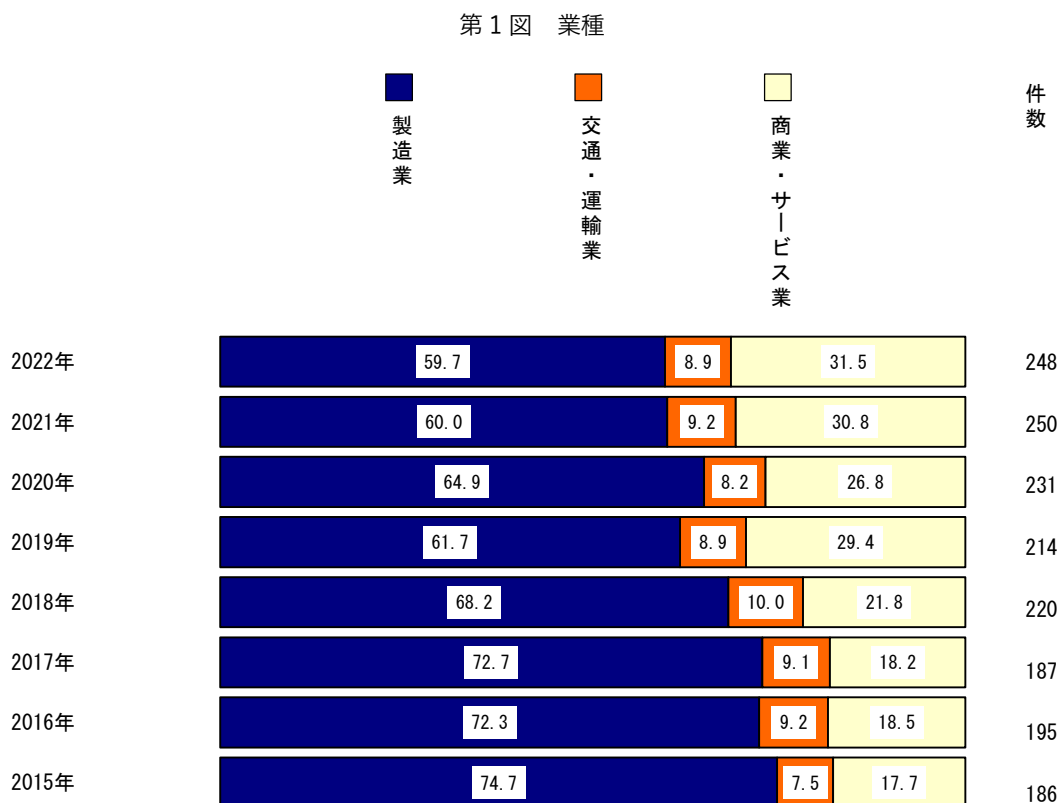
3. 集計ならびに分析作業の委嘱

本報告は、連合静岡組織拡大・対策局との議論に基づいて、労働調査協議会（略称：労調協）が作成している。

4. 2022年度の取り組み状況

集計対象となった組合数は248組合、組合員数は105,268人である。2021年調査(250組合、104,416人)と比べると、組合数は2組合減少しているが、組合員数は1,000人弱増加している。

参加組合の業種構成は、「製造業」が59.7%と際立ち、次いで「商業・サービス業」が31.5%、「交通・運輸業」は8.9%である(第1図)。



なお、『令和4年静岡県労働組合基礎調査結果』(令和4年6月30日現在)によれば、静岡県内の労働組合数ならびに労働組合員数は1,151組合、287,712人(男性:192,782人、女性:94,930人)であり、うち東部が372組合、74,653人、中部が423組合、89,603人、西部が356組合、123,456人となっている(推定雇用者数は1,695千人)。また、上記1,151組合のうち、連合加盟組合数は653組合、218,578人である。

なお、上記連合加盟組合に占める今回調査の集計対象は、組合数では38.0%にとどまるものの、組合員数では48.2%と、連合加盟組合員の半数近くにまで及んでいる。

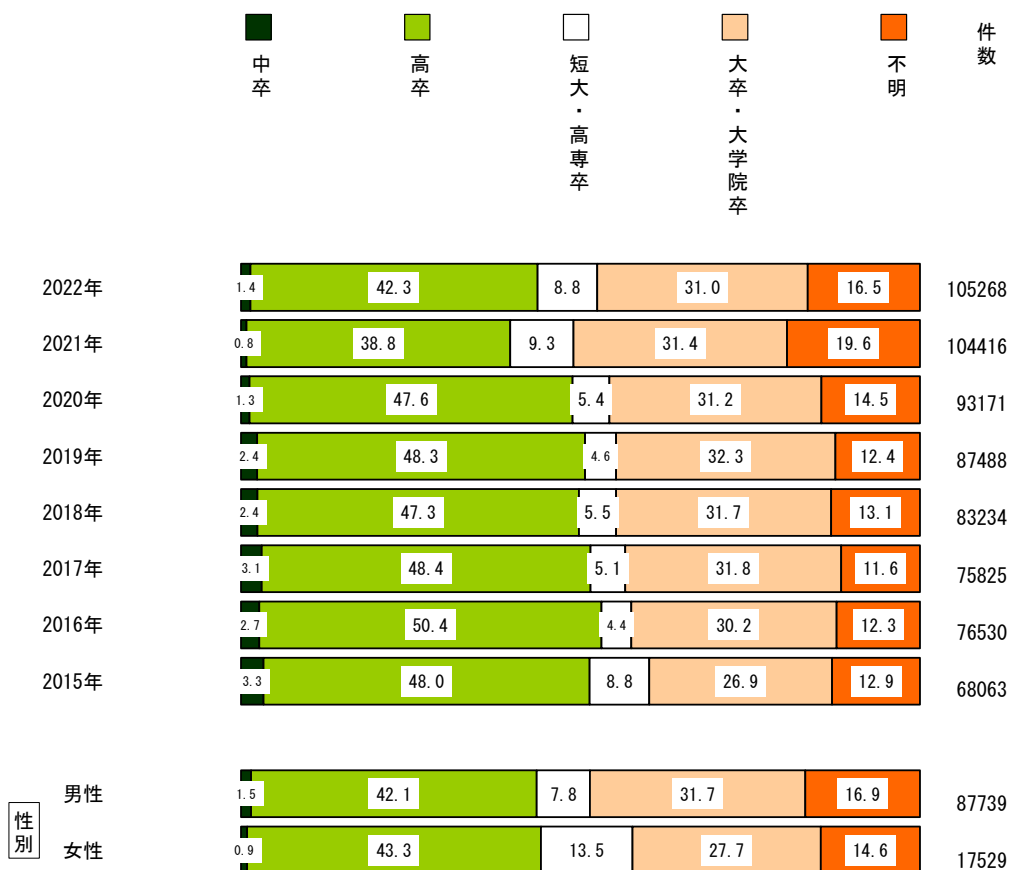
令和3年の組織状況(労働組合数:1,177組合、労働組合員数:291,736人)と比べると、労働組合数(26組合減)、組合員数(4,024人減)ともに減少している。

この他、パートタイム労働者の労働組合員数は22,619人(うち、女性が18,688人)であり、全労働組合員数(287,712人)の7.9%を占めている(令和3年パートタイム労働組合員数:24,394人)。

さらに、学歴構成では、「高卒」が42.3%で最も多く、以下「大卒・大学院卒」が31.0%、「短大・高専卒」が8.8%、「中卒」が1.4%と続いている（第4図）。

「高卒」が最も多い点は、男女に共通した結果であるが、女性では「短大・高専卒」が13.5%と、男性（7.8%）に比べて多くみられる。

第4図 学歴



Ⅰ. 連合静岡全体の概況

1. 2022年調査における賃金実態

(1) 全産業計および業種別

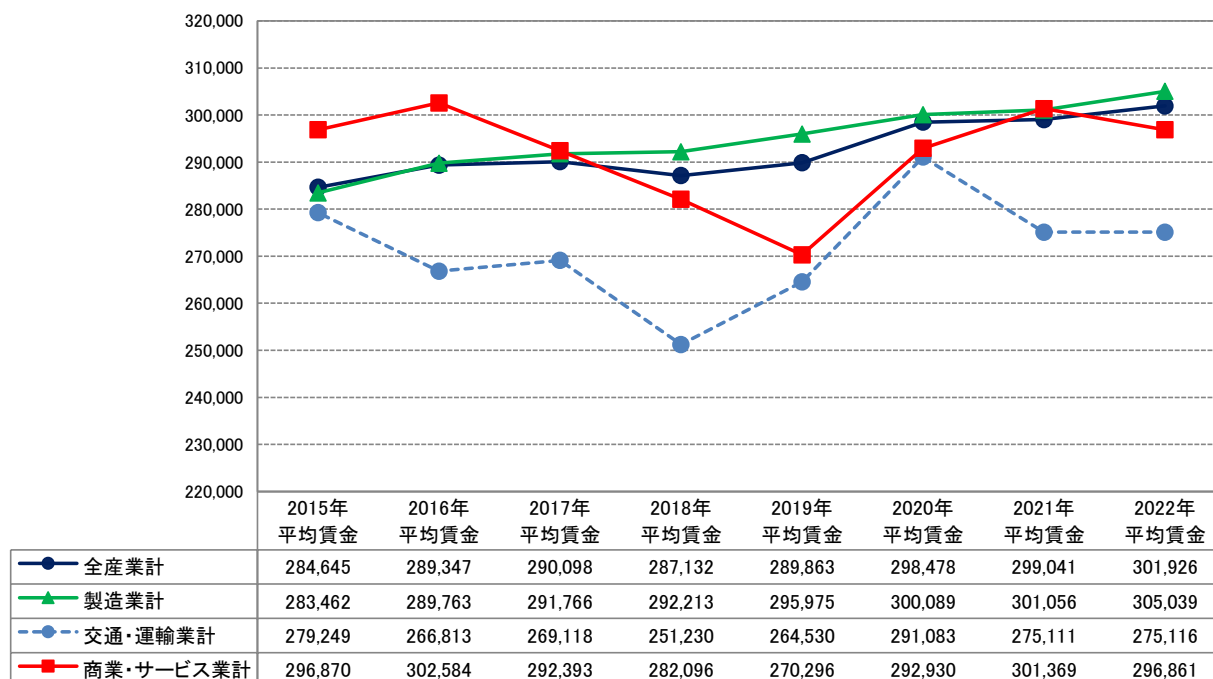
2022年調査における全産業計の平均賃金額は301,926円で、2021年調査(299,041円)に比べて3,000円近く上昇(名目賃金上昇率:1.0%)している(第Ⅰ-1図)。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による景気後退などが大きく影響した2020年調査から2021年調査の上昇率(0.2%)と比べると、若干上回る水準にある。ただし、この1年間(2021年から2022年までの年平均)の消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)は3.0%上昇しているため、賃金上昇率は物価の上昇に追いついていないばかりか、実質での上昇率はマイナスに転じることになる。

業種別の平均賃金額は、「製造業」が305,039円(2021年調査:301,056円)、「交通・運輸業」が275,116円(同:275,111円)、「商業・サービス業」が296,861円(同:301,369円)である。

2021年調査と比べると、製造業で平均賃金額が増加している一方、交通・運輸業ではほぼ横ばい、商業・サービス業では減少している。

第Ⅰ-1図 平均賃金額の推移(単位:円)



また、性別では、男性の平均賃金額が 309,043 円（2021 年調査：306,241 円、対前年比 0.9%のプラス）、女性が 266,308 円（同：265,153 円、同 0.4%のプラス）となっている（第 1-1 表）。

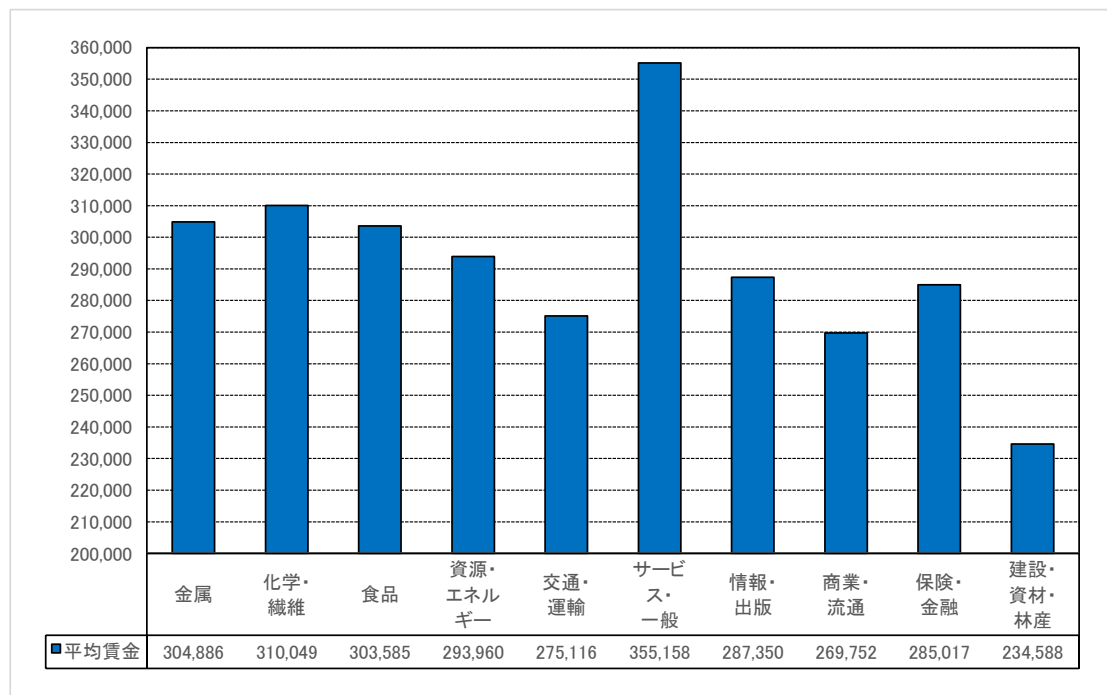
第 1-1 表 業種別平均賃金額

	人数	平均年齢	平均勤続年数	2022年平均賃金	2021年平均賃金	2020年平均賃金	2019年平均賃金	2018年平均賃金	2017年平均賃金	2016年平均賃金	2015年平均賃金	2022年-2021年
全産業計	105,268	39.4	16.0	301,926	299,041	298,478	289,863	287,132	290,098	289,347	284,645	2,885
男性	87,739	39.6	16.2	309,043	306,241	305,557	298,020	295,709	297,364	295,697	290,703	2,802
女性	17,529	38.1	14.9	266,308	265,153	260,464	248,747	246,436	252,587	254,174	249,774	1,155
製造業計	84,977	39.4	16.5	305,039	301,056	300,089	295,975	292,213	291,766	289,763	283,462	3,983
男性	72,510	39.6	16.6	312,217	308,461	306,913	302,787	299,023	298,737	296,388	289,714	3,756
女性	12,467	38.3	15.9	263,289	259,730	259,388	255,389	253,199	251,709	251,437	244,560	3,559
交通・運輸業計	7,437	39.4	14.8	275,116	275,111	291,083	264,530	251,230	269,118	266,813	279,249	5
男性	6,388	39.6	15.4	282,377	282,263	298,064	270,060	257,175	276,381	271,901	284,447	114
女性	1,049	37.0	11.1	230,898	228,652	237,661	215,130	211,640	219,689	216,537	221,816	2,246
商業・サービス業計	12,854	39.2	13.2	296,861	301,369	292,930	270,296	282,096	292,393	302,584	296,870	-4,508
男性	8,841	39.8	13.4	302,271	308,142	301,284	285,047	303,310	302,630	310,283	304,090	-5,871
女性	4,013	38.0	12.6	284,942	287,567	270,884	238,097	238,887	265,159	279,688	276,256	-2,625

注) 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

第 1-2 図は、詳細な業種区分で平均賃金額をみたものであるが、最も高いのは「サービス・一般」の 355,158 円で、以下「化学・繊維」(310,049 円)、「金属」(304,886 円)、「食品」(303,585 円)などが続いている。その一方で、最も低いのは「建設・資材・林産」の 234,588 円となっている。

第 1-2 図 業種別平均賃金額

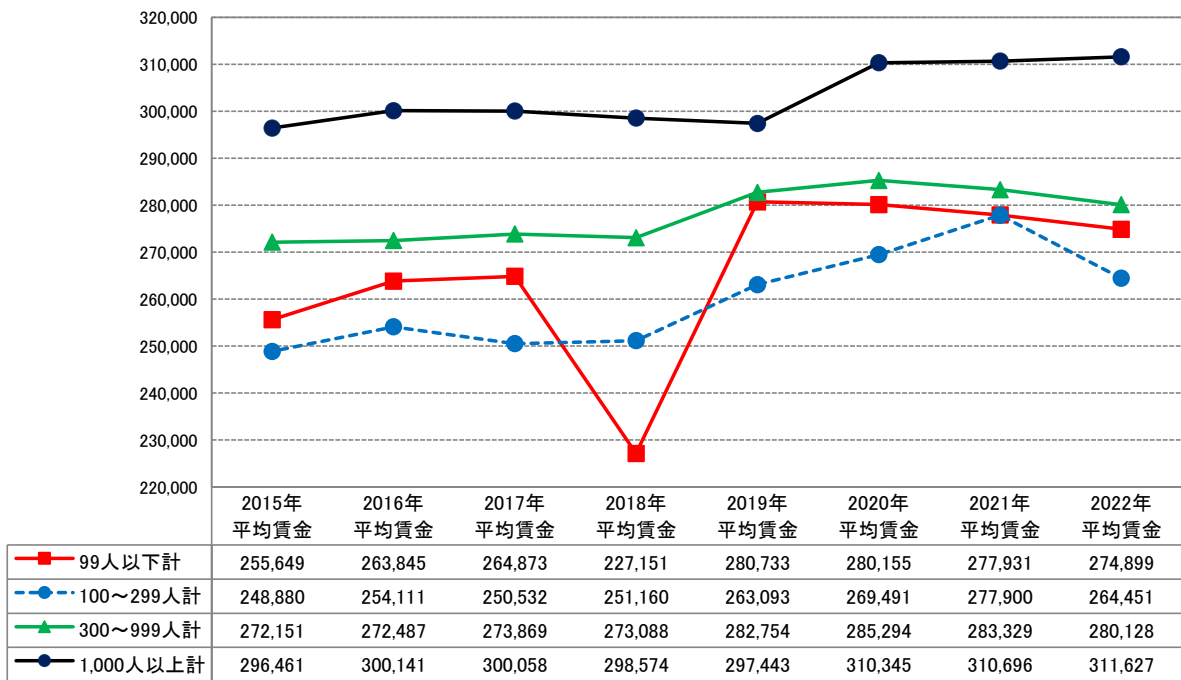


(2) 規模別

規模別（非正規社員を含めた全社従業員数）構成比は、「1,000人以上」（72.5%）が7割を超えており、「300～999人」（19.6%）を含めると、300人超の規模の参加組合が大多数を占めている（「99人以下」：1.8%、「100～299人」：6.1%）。

平均賃金額は、「99人以下」が274,899円（2021年調査：277,931円）、「100～299人」が264,451円（同：277,900円）、「300～999人」が280,128円（同：283,329円）、「1,000人以上」が311,627円（同：310,696円）であり、1,000人以上規模と999人以下の規模では3～5万円近い金額差が生じている（第1-3図、第1-2表）。

第1-3図 平均賃金額の推移（単位：円）



第1-2表 規模別平均賃金額

	人数	平均年齢	平均勤続年数	2022年 平均賃金	2021年 平均賃金	2020年 平均賃金	2019年 平均賃金	2018年 平均賃金	2017年 平均賃金	2016年 平均賃金	2015年 平均賃金	2022年 -2021年
99人以下計	1,887	41.1	14.6	274,899	277,931	280,155	280,733	227,151	264,873	263,845	255,649	-3,032
男性	1,533	41.1	14.3	279,797	283,881	287,350	287,752	229,237	269,181	267,144	261,423	-4,084
女性	354	41.0	15.8	253,689	253,637	248,046	248,765	211,988	231,392	236,206	218,173	52
100～299人計	6,402	38.7	14.1	264,451	277,900	269,491	263,093	251,160	250,532	254,111	248,880	-13,449
男性	5,163	38.7	14.2	270,122	286,463	275,507	271,221	255,481	254,636	258,584	253,493	-16,341
女性	1,239	38.6	13.5	240,821	241,266	243,913	223,900	226,686	226,739	228,024	220,153	-445
300～999人計	20,630	39.5	15.6	280,128	283,329	285,294	282,754	273,088	273,869	272,487	272,151	-3,201
男性	16,847	39.9	16.1	287,627	289,867	291,702	287,916	281,576	281,297	279,398	279,720	-2,240
女性	3,783	37.5	13.5	246,735	253,806	252,830	254,345	233,203	235,992	236,317	230,980	-7,071
1,000人以上計	76,349	39.3	16.3	311,627	310,696	310,345	297,443	298,574	300,058	300,141	296,461	931
男性	64,196	39.6	16.4	318,491	317,781	317,311	306,802	308,311	307,818	306,692	302,139	710
女性	12,153	38.2	15.4	275,366	275,491	269,272	250,513	253,780	260,780	263,926	263,563	-125

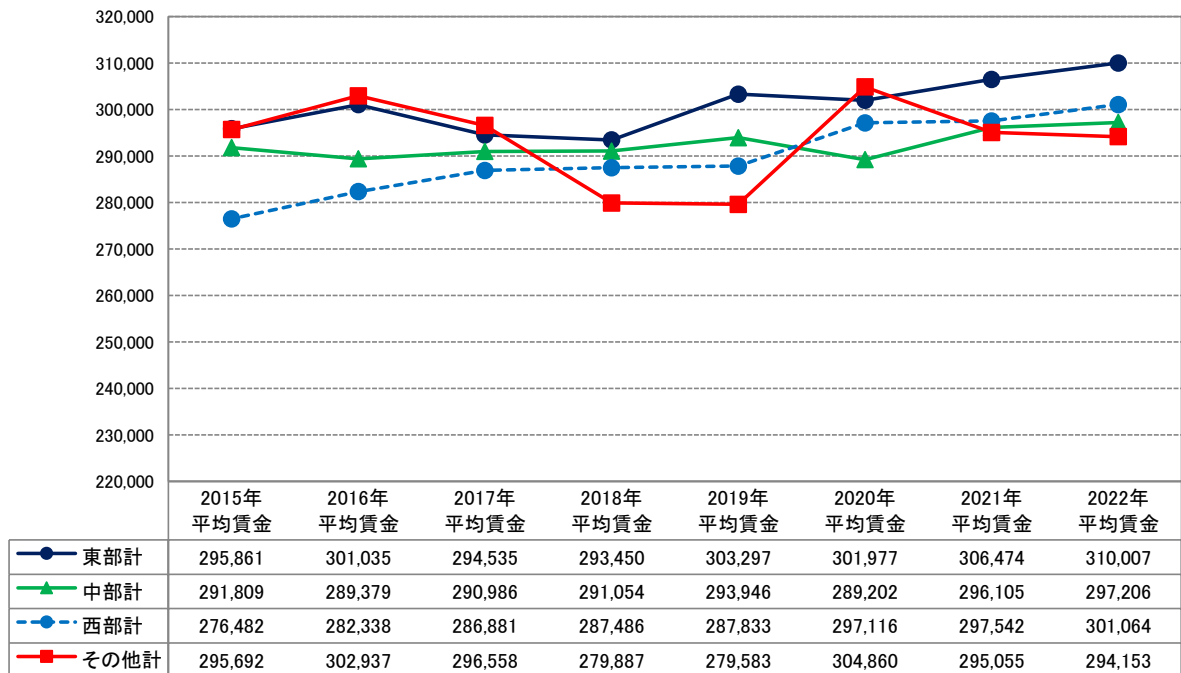
注). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

(3) 地域別

地域別構成では、「西部」(49.4%) がほぼ半数を占めており、以下「東部」(25.5%)、「中部」(10.3%) の順となっている。なお、「その他」(14.8%) は、静岡県下全域に事業所等が所在するなど、上記地域区分に振りわけることが困難な組合が該当している。

平均賃金額は、「東部」が310,007円(2021年調査:306,474円)、「中部」が297,206円(同:296,105円)、「西部」が301,064円(同:297,542円)であり、業種構成などの違いにも留意する必要があるが、最も高い東部と中部や西部では10,000円前後の金額差が生じている(第1-4図、第1-3表)。

第1-4図 平均賃金額の推移(単位:円)



第1-3表 地域別平均賃金額

	人数	平均 年齢	平均 勤続年数	2022年 平均賃金	2021年 平均賃金	2020年 平均賃金	2019年 平均賃金	2018年 平均賃金	2017年 平均賃金	2016年 平均賃金	2015年 平均賃金	2022年 -2021年
東部計	26,840	40.4	17.5	310,007	306,474	301,977	303,297	293,450	294,535	301,035	295,861	3,533
男性	23,131	40.6	17.5	316,391	313,756	306,933	308,886	298,235	299,031	306,112	301,264	2,635
女性	3,709	39.5	17.6	270,189	270,113	268,941	267,070	267,011	268,356	272,803	265,089	76
中部計	10,843	39.7	15.8	297,206	296,105	289,202	293,946	291,054	290,986	289,379	291,809	1,101
男性	8,662	39.9	15.6	304,579	301,221	297,717	301,589	298,264	299,006	296,537	297,005	3,358
女性	2,181	39.0	16.5	267,924	278,779	256,454	261,956	260,878	257,874	255,603	262,101	-10,855
西部計	52,047	39.0	16.0	301,064	297,542	297,116	287,833	287,486	286,881	282,338	276,482	3,522
男性	44,333	39.2	16.2	308,701	305,004	304,404	294,846	294,815	294,134	288,831	282,787	3,697
女性	7,714	37.5	14.4	257,173	256,121	255,335	245,898	244,318	243,660	242,109	235,780	1,052
その他計	15,538	38.5	13.6	294,153	295,055	304,860	279,583	279,887	296,558	302,937	295,692	-902
男性	11,613	38.8	14.1	299,040	302,018	312,928	293,137	295,049	306,258	310,415	303,019	-2,978
女性	3,925	37.7	12.2	279,694	272,201	270,886	238,108	235,641	260,312	270,257	264,318	7,493

注). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

2. 年齢別賃金階級別にみた人員分布

第1-4表は、年齢別賃金階級別に全105,268人の分布をみたものである。

なお、表側（タテ軸）には、賃金額を10万円（「10万円」には9万円から10万円未満のデータを含む、9万円未満は集計対象外）から70万円以上まで1万円刻み、表頭（ヨコ軸）には、年齢を15歳から65歳以上まで1歳刻み、でそれぞれ区分している。また、表中には「1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額」（7,257円）が示されているが、これは20歳から40歳までの全データについて、年齢と賃金との関係を1次回帰した場合の直線の“傾き”のことを指している（表中の賃金カーブは、1次回帰は20歳から40歳まで、3次回帰は18歳から55歳まで）。

前節でみたように、平均賃金額は301,926円となっているが、最頻値は25万円台（2021年調査は24万円台）で、27万円台や28万円台がその後が続いている。ちなみに、表は省略するが、男性の最頻値は25万円台、女性は22万円台である。

学校卒業後入職して間もない10代後半や20代前半層では、17～22万円台が多数を占めるが、30代や40代以降層でも20万円台前半や、第一十分位（賃金額の低い方から10%目にあたる値）の水準を下回る組合員がみられる点は留意すべきところであり、個々のデータを詳細に確認し、実態把握と改善等が求められる。

さらに、第1-5表は、表側を年齢1歳、表頭を勤続1年ごとに区分し、その平均賃金額を示したものであり、いわゆる実態賃金傾向値表である。

ちなみに、本表の勤続0年の欄は、中途入社者を含む初任賃金額の実態を示している。

以下、第1-6表～第1-8表は、製造業、交通・運輸業、商業・サービス業それぞれについて、年齢別賃金階級別に全体の人員分布をみたものである。なお、分布表内に表示されている回帰線グラフは、いずれも全産業計の第1十分位と第1四分位の1次回帰（20歳から40歳まで）、ならびに3次回帰（18歳から55歳まで）の結果を示したものである。

第 1 - 5 表 年齢別勤続年数別平均賃金表

年齢	勤続年数	平均賃金																																																																																								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45																																											
15	302	218	221	234	230	236	243	249	261	269	278	282	285	287	311	306	309	313	325	336	343	350	330	333	335	339	345	346	342	348	357	364	370	365	374	371	368	377	373	364	363	373	374	341	264	305	249																																											
16	171	172	167	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																						
17	171	172	167																																																																																							
18	178	179	177	181	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																					
19	183	184	180	183																																														186																																								
20	188	180	193	162	187	190	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																			
21	198	209	202	197	191	196																																														196																																						
22	208	213	219	214	204	197	200	200	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																	
23	216	223	217	226	222	210	199	206																																														205																																				
24	226	221	241	228	233	229	216	209	215	209	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																															
25	234	219	234	245	236	239	238	226	211	222																																														219	190																																	
26	241	228	223	243	249	245	248	245	235	231	230	224	204	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																												
27	247	229	231	239	248	260	253	254	251	242	222	240	230																																														297																															
28	254	240	242	240	238	253	272	261	261	256	250	231	246	241	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																											
29	262	254	239	249	246	252	263	279	272	274	268	259	234	251																																														249	286																													
30	31	264	253	241	254	252	256	250	272	293	280	281	273	267	244	258	243	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																								
31	32	272	258	239	260	250	268	254	263	279	303	291	296	285	261	258	266																																														247																											
32	33	281	270	267	262	268	262	269	271	282	289	313	308	300	287	278	253	277	253	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																						
33	34	286	270	263	268	262	263	263	263	275	270	306	326	315	310	293	277	260	283																																														261	257	232	288																						
34	299	276	259	270	263	265	284	274	285	284	291	309	330	316	321	314	279	264	294	274	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																					
35	306	288	276	270	265	264	273	284	290	287	314	299	311	343	321	323	312	285	277	302																																														306																								
36	314	294	286	278	278	272	272	279	289	286	297	310	345	325	334	321	293	285	312	300	319	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																				
37	319	263	291	287	282	286	308	271	303	282	328	283	302	300	335	346	330	334	331	306	303																																														312	289	302																					
38	322	272	279	283	287	285	284	293	306	309	299	307	315	307	323	332	341	343	345	337	305	290	318	288	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																	
39	326	273	274	295	282	291	277	302	312	309	333	318	296	309	330	330	323	353	349	369	349	318	294	320																																														297																				
40	330	267	300	290	300	286	267	321	315	325	299	295	312	295	340	323	320	335	375	363	362	362	314	318	329	300	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																															
41	334	295	308	285	286	300	289	289	306	321	320	309	318	304	341	328	323	331	355	386	364	377	343	331	321	334																																														307	231	328																
42	333	277	292	293	270	288	289	276	293	305	312	329	290	286	346	331	325	336	344	377	380	368	366	340	321	324	339	310	231	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																												
43	344	291	277	277	282	289	271	297	299	309	312	295	277	326	338	325	310	329	341	351	366	383	369	367	346	324	322	347	311																																														297	295														
44	336	325	299	287	280	271	288	281	286	322	319	316	326	323	338	326	330	331	348	349	368	387	370	352	368	345	327	335	341	319	275	296	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																									
45	337	277	280	285	269	264	275	292	323	315	319	296	279	314	329	335	331	349	355	349	361	369	373	368	367	333	324	325	346	323	338	298																																																										
46	339	252	251	287	277	257	291	263	293	280	306	292	277	295	333	323	330	326	342	361	354	354	352	351	371	359	374	361	324	330	352	334	330	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																								
47	343	317	272	299	280	262	255	269	285	295	305	317	312	291	351	316	330	326	334	357	357	354	305	338	362	364	376	365	336	331	340	356	336																																														266	286										
48	349	293	271	290	258	263	263	245	288	288	312	313	305	285	337	313	320	318	355	347	356	360	358	338	362	360	370	379	387	341	346	334	368	337	345	280	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																					
49	50	268	265	293	256	260	288	260	284	263	290	269	299	274	333	333	322	328	349	350	360	391	346	335	352	385	377	401	377	387	347	357	339	362	342	252																																																						
50	351	261	270	282	247	246	237	227	287	313	283	258	284	279	357	322	326	331	345	334	349	373	327	331	358	368	361	375	388	396	393	360	357	340	360	333	255	305	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																			
51	355	286	297	278	272	248	241	264	275	316	290	280	278	254	350	321	306	327	335	340	353	374	321	294	321	344	350	362	369	384	382	400	384	354	359	352	336	348																																														331						
52	356	255	262	293	278	251	223	220	281	335	286	264	227	256	332	302	328	324	337	372	354	367	312	334	349	361	357	352	371	353	378	399	401	369	359	362	353	344	292	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																		
53	361	221	295	285	262	261	270	285	261	320	343	318	317	294	362	341	346	360	317	310	346	342	355	343	303	360	366	393	397	399	389	349	364	366	350	325	305																																																					
54	361	279	256	278	248	224	242	255	308	248	254	255	282	298	358	288	288	343	349	336	346	369	342	348	344	334	370	334	317	384	353	347	396	389	415	404	332	367	365	353	313	338	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																															
55	358	346	277	262	263	237	258	231	256	276	329	317	315	229	333	312	326	294	297	377	333	330	336	306	320	332	334	318	296	328	366	350	356	373	405	402	403	377	370	366	369	356																																														355		
56	361	255	270	267	271	242	250	237	288	263	233	309	290	247	335	314	338	298	293	243	353	302	332	335	355	398	341	325	358	348	355	368	400	420	401	404	366	361	366	360	304	347	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																															
57	366	427	309	312	222	269	222	205	261	313	296	316	288	245	359	299	298	318	308	288	334	351	344	346	298	296	343	310	345	309	328	355	360	363	380	408	419	408	390	342	365	375																																														331	350	
58	368	299	289	293	248	277	271	222	275	252	369	282	258	236	357	306	295	271	299	371	299	371	304	292	344	349	307	331	263	322	349	347	360	374	390	410	418	413	401	321	389	378	373	381	369	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																												
59	322	324	208	300	263	180	333	244	273	281	195	298	314	321	277	244	265	369	355	214	353	278	225	214	291	365	209	300	286	344	257	266	411	438	377	431	375	374	399	320	298	290																																																
60	294	289	290	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																						
61	288	330	284																																																																																							
62	224	296	240	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																						
63	208	189	143																																														329																																									
64	291	225	284	203	この列は、いわゆる中途入社者も含めた平均初任賃金																																																																																					
65	245	298	199	151																																														330	310	459	221	294	440	345	402	223	223	160	350	328	472	453	341	355	407	466	282	343	471	602	248	170																

単位：千円

3. 回帰分析とは

(1) 回帰分析とは

一般的に、年齢と賃金との関係を考えて、年齢が高くなれば賃金も上がると想定されている。ただし、賃金は、年齢という要素だけで決定されるものではないため、個々の年齢によって賃金額にはバラツキが生じているはずである。

そこで、ヨコ軸に年齢、タテ軸に賃金額をとり、個々のデータをプロットしていくと、おおよそ右肩上がりのプロット図が描かれる。そのプロット図から、年齢と賃金との関係を示す線を引こうとする際に、このすべてのデータの真ん中を通る（個々の点からの距離の総和が最も短い位置にある、ズレが最小になる）ように引いた線を「回帰線」という。また、回帰線は、1次式では直線（回帰直線）、2次式以上では曲線（回帰曲線）で表される。

“賃金Yは年齢Xとの関係で決まっている”と想定し、回帰式で表すと、

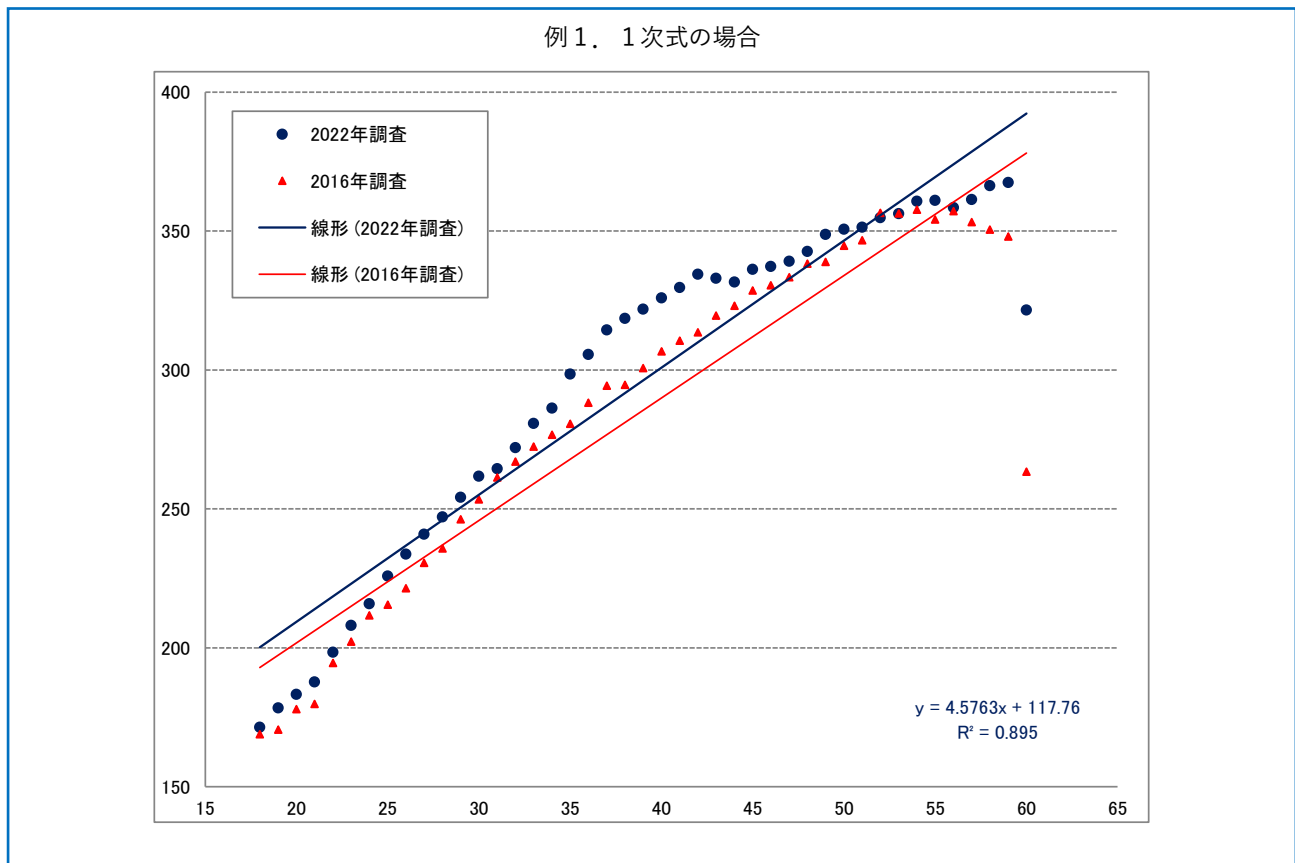
1次式では「 $Y = aX + b$ 」（a：傾き、b：定数）となる。

3次式では「 $Y = a_1X^3 + a_2X^2 + a_3X + b$ （定数）」となる。

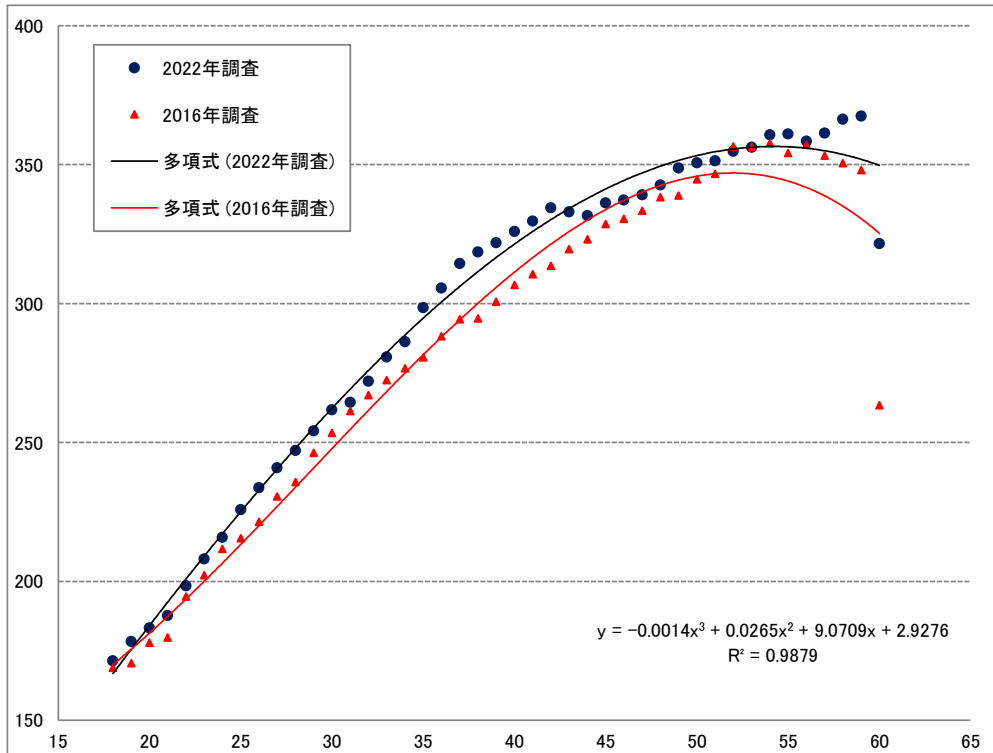
※1次式は右肩上がりの直線、3次式は両端がゆるやかで中ほどで上昇するS字曲線

ちなみに、回帰計算は、変数を増やすとあてはまりがよくなるとされている。

なお、回帰式のあてはまりの程度を示す値としては、「決定係数（ R^2 ）」がある。決定係数は、0から1までの数値となり、1に近いほどあてはまりがよいとされる。とくに決まりはないが、0.8以上はあてはまりが非常によい、0.6以上はかなりよい、0.4以上はある程度よい、0.4未満はよくないと考えられている。



例2. 3次式の場合



(2) 回帰分析で賃金を求める

例えば、ある年齢ポイントの賃金を求める場合、実在者のデータを利用して算出することになるが、そのデータの中に、賃金の極端に高い（低い）人がいたり、人数が極端に少なかったりすると、それらの影響を受け、1歳ごとの金額のブレが大きくなることが懸念される。

回帰分析で賃金を求めると、特定の年齢ポイントの賃金でも全体のデータから導き出されるため、ブレが少なく、なだらかな賃金カーブが描け、数値を得られることができる。また、実際に当該年齢ポイントに実在者がいなくても、推計値として算出することができるという利点もある。

さらに、年齢ポイントごとに安定的な賃金データが得られれば、1人あたりの1歳間差額（いわゆる賃金カーブ維持分）が求められる他、将来の総額人件費の予測などにも役立てることができる。

II. 年齢ポイント別平均賃金

1. 性別

全産業計における年齢ポイント別平均賃金額は、20歳の183.2千円から55歳の361.1千円まで年齢の高まりとともに賃金額も上昇しており、右肩上がりの賃金カーブを描いている（第II-1図）。賃金カーブの傾きといった点では、男性に比べて女性で傾きが緩やかになっている。

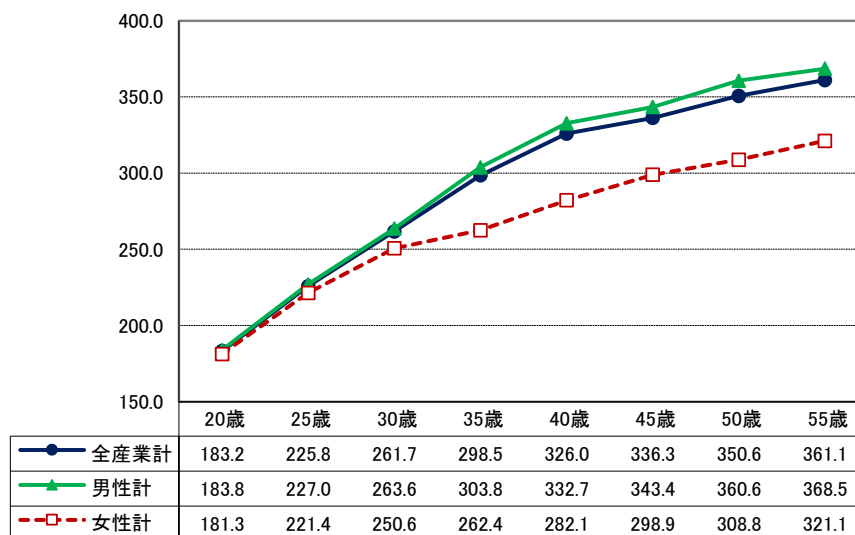
男女間の賃金格差（男性=100）に着目すると、20歳ではほとんど差は生じていないが、25歳以降徐々に差が開き始め、30歳で95、35歳以降は85～87で推移している。また、その金額差は、25歳では5.5千円程度だが、30歳で1万円強、35歳以降では4～5万円前後にまで広がっている。ただし、この格差には、同じ年齢ポイントでも男女間で勤続年数や学歴、職種構成など、属性上の違いが影響している点には留意する必要がある。

なお、年齢区間20～40歳のデータを利用して算出した賃金の1歳あたり上昇額（年齢を説明変数として賃金について1次回帰した場合の年齢係数＝「傾き」）は、7,257円（男性：7,607円、女性：4,845円）である。

第II-1図 年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	全産業計		男性計		女性計		男性 -女性	女性 /男性 (%)
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		
20歳	183.2	100.0	183.8	100.0	181.3	100.0	2.6	98.6
25歳	225.8	123.2	227.0	123.5	221.4	122.2	5.5	97.6
30歳	261.7	142.9	263.6	143.4	250.6	138.3	13.0	95.1
35歳	298.5	163.0	303.8	165.2	262.4	144.8	41.3	86.4
40歳	326.0	177.9	332.7	181.0	282.1	155.6	50.6	84.8
45歳	336.3	183.5	343.4	186.8	298.9	164.9	44.5	87.0
50歳	350.6	191.4	360.6	196.1	308.8	170.4	51.8	85.6
55歳	361.1	197.1	368.5	200.4	321.1	177.2	47.4	87.1
傾き	7,257		7,607		4,845			

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



2. 業種別

20歳、35歳、45歳といった各年齢ポイントの平均賃金を業種別にみると、20歳では、製造業が183.1千円、交通・運輸業が186.3千円、商業・サービス業が181.1千円というように、交通・運輸業が製造業や商業・サービス業を上回る水準にある（第II-2図）。35歳でも、交通・運輸業が304.4千円と最も高く、製造業（298.8千円）や商業・サービス業（293.3千円）を上回るが、45歳になると、製造業（337.0千円）や商業・サービス業（342.1千円）が交通・運輸業（310.9千円）を上回り、高低が逆転する。

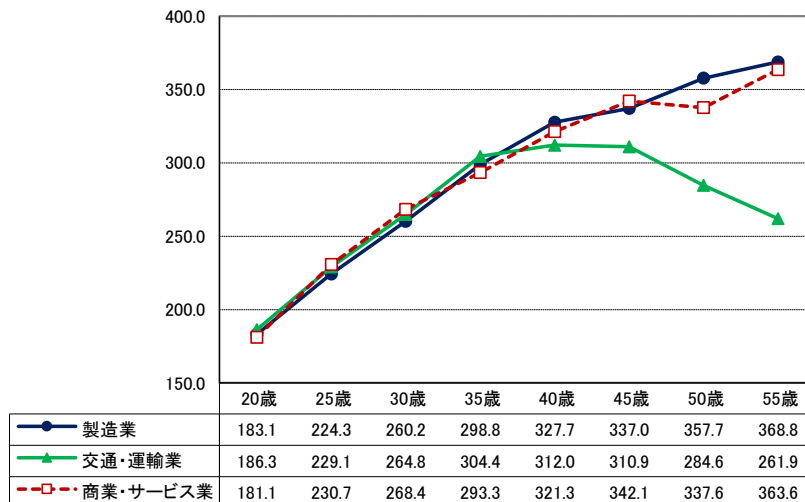
また、賃金カーブの傾き（20歳=100）といった点では、25歳まではほとんど差はみられないが、30歳で商業・サービス業が148と、製造業（142）や交通・運輸業（142）に比べて傾きが大きくなる。35歳以降は、製造業や商業・サービス業の傾きが徐々に大きくなる一方で、交通・運輸業は40歳以降に横ばい、もしくは傾きが小さくなっている。

なお、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は、製造業が7,438円、交通・運輸業が6,583円、商業・サービス業が6,488円である。

第II-2図 年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	製造業						交通・運輸業						商業・サービス業					
	総計		男性計		女性計		総計		男性計		女性計		総計		男性計		女性計	
	20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100	
20歳	183.1	100.0	183.6	100.0	181.7	100.0	186.3	100.0	187.8	100.0	178.8	100.0	181.1	100.0	182.3	100.0	179.7	100.0
25歳	224.3	122.5	225.6	122.9	218.8	120.4	229.1	123.0	233.4	124.3	206.9	115.7	230.7	127.4	230.5	126.4	231.0	128.5
30歳	260.2	142.1	262.4	142.9	243.5	134.0	264.8	142.2	271.4	144.5	222.6	124.5	268.4	148.2	266.7	146.3	272.0	151.3
35歳	298.8	163.2	303.2	165.2	259.9	143.1	304.4	163.4	317.6	169.1	237.5	132.8	293.3	162.0	299.6	164.3	276.8	154.0
40歳	327.7	178.9	333.7	181.8	278.9	153.5	312.0	167.5	326.4	173.8	245.3	137.2	321.3	177.4	328.2	180.0	302.5	168.3
45歳	337.0	184.0	344.9	187.9	290.6	160.0	310.9	166.9	322.4	171.6	236.2	132.1	342.1	188.9	343.8	188.6	337.3	187.7
50歳	357.7	195.3	368.3	200.6	308.3	169.7	284.6	152.8	292.3	155.6	250.2	139.9	337.6	186.4	340.2	186.6	331.9	184.7
55歳	368.8	201.4	376.4	205.0	317.3	174.7	261.9	140.6	268.9	143.1	231.1	129.2	363.6	200.7	365.6	200.5	359.6	200.1
傾き	7,438		7,740		4,763		6,583		7,190		3,001		6,488		6,882		5,549	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



3. 規模別

規模別にみると、20歳では、99人以下や100～299人、300～999人の規模で17万円台、1,000人以上で18万円台であるが、35歳では各規模間の中で格差が生じ、99人以下で24万円台、100～299人で26万円台、300～999人で28万円台、1,000人以上で30万円台というように、最大で6万円程度の金額差となっている（第Ⅱ-3図）。45歳になると、999人以下と1,000人以上の規模間格差が明確となり、両者の格差は4～5万円程度にまで拡大している。

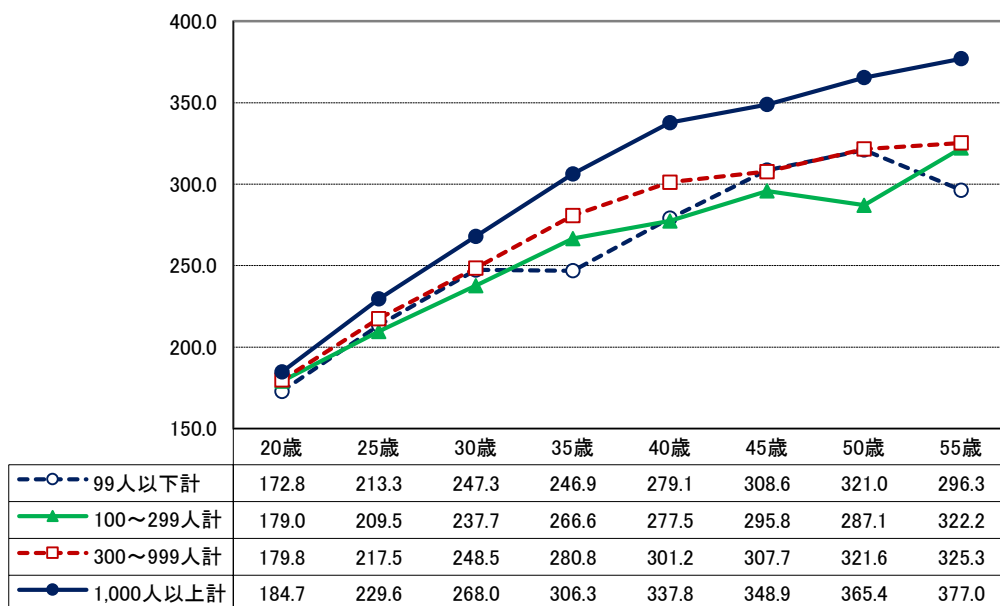
上記の差を賃金カーブの傾き（20歳=100）で確認すると、35歳あたりから999人以下と1,000人以上の差が徐々に目立つようになり、999人以下（99人以下：143、100～299人：149、300～999人：156）に比べて、1,000人以上では166となっている。

また、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は、99人以下が4,638円、100～299人が5,192円と5千円前後にとどまっているのに対して、300～999人では6,137円、1,000人以上では7,813円と、ここからも規模間格差の大きさがうかがえる。

第Ⅱ-3図 年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	99人以下計		100～299人計		300～999人計		1,000人以上計	
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100
20歳	172.8	100.0	179.0	100.0	179.8	100.0	184.7	100.0
25歳	213.3	123.5	209.5	117.1	217.5	121.0	229.6	124.3
30歳	247.3	143.1	237.7	132.8	248.5	138.2	268.0	145.1
35歳	246.9	142.9	266.6	149.0	280.8	156.2	306.3	165.9
40歳	279.1	161.5	277.5	155.0	301.2	167.5	337.8	182.9
45歳	308.6	178.6	295.8	165.2	307.7	171.1	348.9	188.9
50歳	321.0	185.8	287.1	160.4	321.6	178.9	365.4	197.8
55歳	296.3	171.5	322.2	180.0	325.3	180.9	377.0	204.1
傾き	4,638		5,192		6,137		7,813	

注) 「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



4. 地域別

地域別にみると、20歳の平均賃金額は、東部が183.9千円、西部が183.0千円と、中部（177.8千円）を上回る水準にあるが、35歳では、東部（299.5千円）と中部（300.0千円）、西部（296.2千円）が概ね同水準で並ぶようになる（第II-4図）。45歳になると、東部（348.0千円）が最も高くなり、中部（330.3千円）や西部（330.4千円）との格差がやや拡大している。

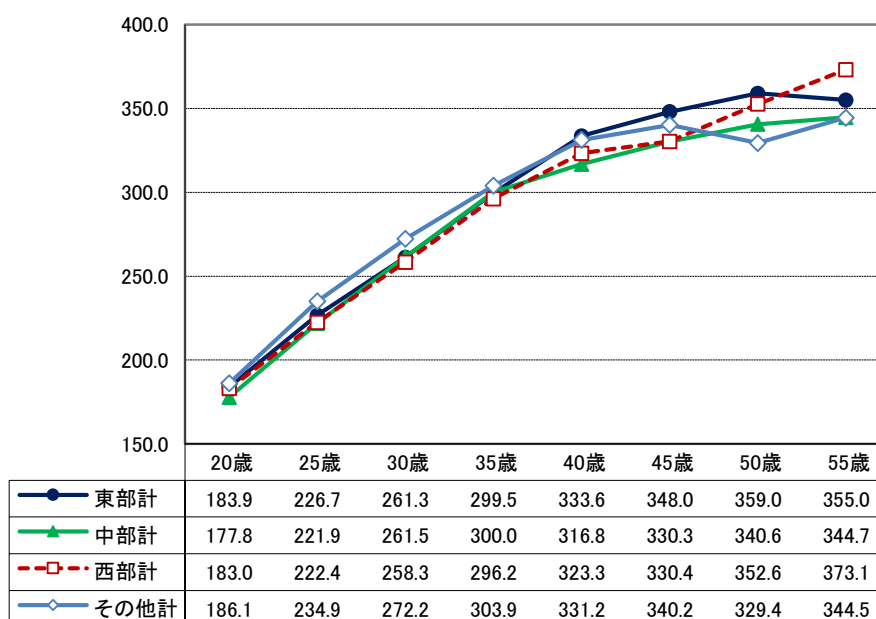
賃金カーブの傾き（20歳=100）は、30歳や35歳では、東部や西部に比べて中部で傾きが大きくなっているが、40歳では、東部（181）が中部（178）や西部（177）を上回るようになる。傾きのピークは、中部や西部が55歳であるのに対して、東部は50歳となっている。

なお、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は、東部が7,579円、中部が7,130円、西部が7,271円である。

第II-4図 年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	東部計		中部計		西部計		その他計	
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100
20歳	183.9	100.0	177.8	100.0	183.0	100.0	186.1	100.0
25歳	226.7	123.3	221.9	124.8	222.4	121.6	234.9	126.3
30歳	261.3	142.1	261.5	147.1	258.3	141.2	272.2	146.3
35歳	299.5	162.9	300.0	168.7	296.2	161.9	303.9	163.3
40歳	333.6	181.4	316.8	178.2	323.3	176.7	331.2	178.0
45歳	348.0	189.3	330.3	185.7	330.4	180.5	340.2	182.9
50歳	359.0	195.3	340.6	191.5	352.6	192.7	329.4	177.1
55歳	355.0	193.1	344.7	193.9	373.1	203.9	344.5	185.2
傾き	7,579		7,130		7,271		6,975	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



5. 2021年調査との比較

(1) 全体比較

以下では、全産業計の結果を用いて、2021年調査との比較を行うことにする（第Ⅱ-5図）。

すでにみてきたように、2022年調査は、組合員数105,368人、平均年齢39.4歳、平均勤続年数16.0年、平均賃金額301,926円となっており、2021年調査（組合員数：104,416人、平均年齢：39.1歳、平均勤続年数：15.8年、平均賃金額：299,041円）との対比では、平均賃金額で3,000円近く上昇している。

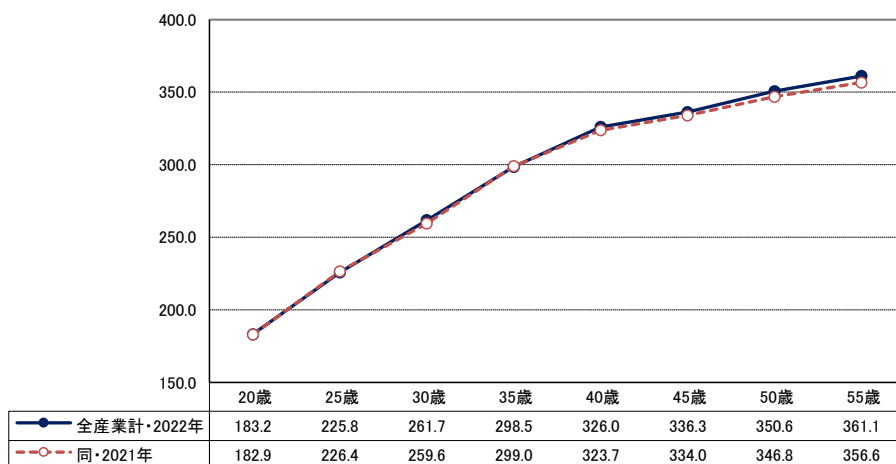
年齢ポイント別平均賃金額を2021年調査と比べると、30歳や40歳以降の年齢ポイントでの増加が目立ち、高年層ほど上昇率も高くなっている。

なお、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は7,257円で、2021年調査（7,104円）に比べて153円（+2.2%）の増加となっている。

第Ⅱ-5図 年齢ポイント別平均賃金：全産業計（単位：千円）

	全産業計・2022年		同・2021年		同・2020年		同・2019年		同・2018年		同・2017年		同・2016年		同・2015年		上昇率 (%)	2022年 -2021年
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		
全産業計	301.9		299.0		298.5		289.9		287.1		290.1		289.3		284.6		1.0	2.9
20歳	183.2	100.0	182.9	100.0	181.3	100.0	178.6	100.0	176.5	100.0	175.1	100.0	177.9	100.0	174.4	100.0	0.2	0.3
25歳	225.8	124.6	226.4	124.9	224.0	123.6	220.9	123.7	218.3	123.7	219.2	125.2	215.6	121.2	208.9	119.8	-0.3	-0.6
30歳	261.7	144.4	259.6	143.2	254.3	140.3	251.1	140.6	249.0	141.1	254.3	145.2	253.4	142.4	249.4	143.0	0.8	2.2
35歳	298.5	164.7	299.0	164.9	297.1	163.9	289.8	162.3	286.5	162.3	284.6	162.5	280.7	157.8	275.0	157.7	-0.1	-0.4
40歳	326.0	179.8	323.7	178.6	319.8	176.4	312.1	174.8	303.3	171.8	306.3	174.9	306.7	172.4	305.3	175.0	0.7	2.3
45歳	336.3	185.5	334.0	184.2	333.2	183.8	321.1	179.8	323.1	183.0	325.4	185.8	328.6	184.7	323.5	185.4	0.7	2.3
50歳	350.6	193.4	346.8	191.3	345.5	190.6	339.5	190.1	335.5	190.1	343.3	196.0	344.7	193.7	338.3	193.9	1.1	3.8
55歳	361.1	199.2	356.6	196.7	355.3	196.0	348.9	195.4	353.7	200.3	356.9	203.8	354.2	199.1	348.9	200.0	1.2	4.4
傾き	7.257		7,104		7,009		6,928		6,479		6,541		6,356		6,392			

注)。「傾き」は年齢区間20~40歳、単位は円。



第II-1表は、年齢ポイント別平均賃金を性別、業種別、規模別、地域別に整理したものである。

第II-1表 年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	全産業計		2022年 -2021年	男性		2022年 -2021年	女性		2022年 -2021年
	2022年	2021年		2022年	2021年		2022年	2021年	
20歳	183.2	182.9	0.3	183.8	183.0	0.9	181.3	182.7	-1.4
25歳	225.8	226.4	-0.6	227.0	227.6	-0.7	221.4	221.9	-0.5
30歳	261.7	259.6	2.2	263.6	263.6	0.0	250.6	240.1	10.6
35歳	298.5	299.0	-0.4	303.8	303.9	-0.1	262.4	265.7	-3.2
40歳	326.0	323.7	2.3	332.7	330.9	1.9	282.1	281.9	0.2
45歳	336.3	334.0	2.3	343.4	342.4	1.0	298.9	290.9	8.0
50歳	350.6	346.8	3.8	360.6	357.1	3.5	308.8	306.3	2.5
55歳	361.1	356.6	4.4	368.5	365.2	3.3	321.1	314.0	7.2
傾き	7,257	7,140		7,607	7,470		4,845	4,615	

	製造業		2022年 -2021年	交通・運輸業		2022年 -2021年	商業・サービス業		2022年 -2021年
	2022年	2021年		2022年	2021年		2022年	2021年	
20歳	183.1	182.4	0.7	186.3	185.9	0.3	181.1	185.3	-4.2
25歳	224.3	225.8	-1.5	229.1	227.8	1.3	230.7	228.2	2.5
30歳	260.2	257.4	2.9	264.8	269.4	-4.6	268.4	268.2	0.1
35歳	298.8	298.4	0.5	304.4	305.9	-1.5	293.3	299.1	-5.8
40歳	327.7	324.4	3.3	312.0	307.9	4.1	321.3	325.5	-4.3
45歳	337.0	334.0	3.1	310.9	321.6	-10.7	342.1	339.4	2.7
50歳	357.7	354.2	3.5	284.6	262.1	22.5	337.6	342.9	-5.3
55歳	368.8	364.4	4.3	261.9	273.3	-11.4	363.6	353.5	10.1
傾き	7,438	7,225		6,583	6,833		6,488	6,616	

	99人以下		2022年 -2021年	100～299人		2022年 -2021年	300～999人		2022年 -2021年	1,000人以上		2022年 -2021年
	2022年	2021年		2022年	2021年		2022年	2021年		2022年	2021年	
20歳	172.8	174.0	-1.2	179.0	182.5	-3.5	179.8	177.5	2.3	184.7	185.5	-0.8
25歳	213.3	214.6	-1.3	209.5	219.9	-10.4	217.5	213.3	4.2	229.6	232.0	-2.4
30歳	247.3	246.7	0.6	237.7	250.0	-12.3	248.5	243.2	5.4	268.0	267.3	0.7
35歳	246.9	273.9	-27.1	266.6	270.7	-4.1	280.8	280.8	0.0	306.3	313.0	-6.7
40歳	279.1	294.1	-15.1	277.5	299.3	-21.8	301.2	301.4	-0.2	337.8	338.9	-1.1
45歳	308.6	299.2	9.4	295.8	309.3	-13.5	307.7	315.3	-7.7	348.9	350.2	-1.3
50歳	321.0	315.9	5.1	287.1	325.3	-38.3	321.6	326.6	-5.0	365.4	362.8	2.6
55歳	296.3	310.3	-14.0	322.2	351.5	-29.3	325.3	333.2	-7.9	377.0	373.7	3.3
傾き	4,638	5,835		5,192	5,672		6,137	6,174		7,813	7,790	

	東部		2022年 -2021年	中部		2022年 -2021年	西部		2022年 -2021年	その他		2022年 -2021年
	2022年	2021年		2022年	2021年		2022年	2021年		2022年	2021年	
20歳	183.9	182.1	1.7	177.8	175.1	2.7	183.0	183.1	-0.1	186.1	187.7	-1.7
25歳	226.7	226.5	0.2	221.9	222.4	-0.5	222.4	225.0	-2.6	234.9	231.9	3.0
30歳	261.3	257.6	3.6	261.5	258.3	3.2	258.3	256.9	1.4	272.2	273.2	-0.9
35歳	299.5	301.7	-2.2	300.0	291.9	8.1	296.2	296.8	-0.6	303.9	306.0	-2.1
40歳	333.6	330.8	2.8	316.8	316.4	0.4	323.3	322.0	1.3	331.2	325.2	6.0
45歳	348.0	341.0	7.0	330.3	320.8	9.4	330.4	331.7	-1.3	340.2	338.4	1.8
50歳	359.0	348.7	10.3	340.6	342.7	-2.2	352.6	352.7	-0.1	329.4	324.2	5.2
55歳	355.0	351.9	3.2	344.7	336.1	8.6	373.1	368.9	4.2	344.5	329.0	15.5
傾き	7,579	7,556		7,130	6,936		7,271	7,071		6,975	6,788	

注)「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。

(2) 同一組合比較

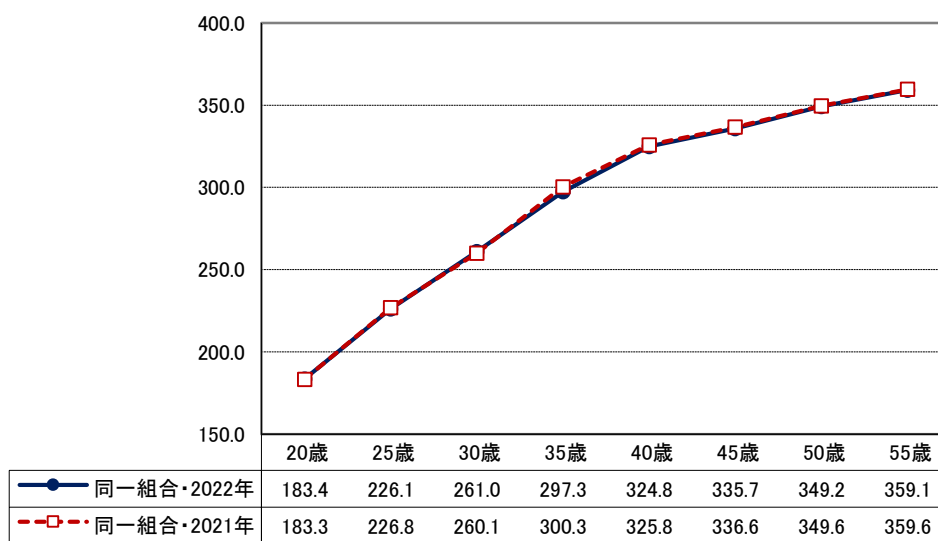
さらに、今年度（2022年）と前年度（2021年）双方に参加している同一組合を抽出し、年齢ポイント別平均賃金額の推移をみると、35歳での減少幅が他の年齢ポイントに比べて大きいものの、概ね同様な賃金カーブを描いていることがわかる（第II-6図）。

1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額も、2022年調査が7,155円、2021年調査は7,192円と、同一組合に限ってみればほぼ横ばいに推移している。

第II-6図 年齢ポイント別平均賃金：全産業計（単位：千円）

	同一組合・2022年		同一組合・2021年		上昇率 (%)	2022年 -2021年
		20歳 =100		20歳 =100		
20歳	183.4	100.0	183.3	100.0	0.1	0.2
25歳	226.1	123.3	226.8	123.8	-0.3	-0.7
30歳	261.0	142.3	260.1	141.9	0.4	0.9
35歳	297.3	162.1	300.3	163.8	-1.0	-2.9
40歳	324.8	177.1	325.8	177.8	-0.3	-1.0
45歳	335.7	183.0	336.6	183.7	-0.3	-0.9
50歳	349.2	190.4	349.6	190.8	-0.1	-0.4
55歳	359.1	195.7	359.6	196.2	-0.1	-0.5
傾き	7,155		7,192			

注)。「傾き」は年齢区間20~40歳、単位は円。



なお、抽出された同一組合数は194組合（今回調査における集計対象248組合のうちの78.2%）、2022年調査では、集計対象数が94,494人、平均年齢が39.4歳、平均勤続年数が16.0年、平均賃金額が301,250円となっている。また、2021年調査は、同98,171人、同38.9歳、同15.8年、同300,544円である。

Ⅲ. 「賃金構造基本統計調査・静岡」の結果

以下では、厚生労働省が実施している『賃金構造基本統計調査（賃金センサス）』（「主要産業に雇用される労働者について、その賃金の実態を労働者の雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにする」ことを目的に、毎年7月に実施されている基幹統計）の結果を活用し、連合静岡「個別賃金実態調査」の結果と照らし合わせておく。

1. 賃金構造基本統計調査にみる静岡の概況

まず、「賃金構造基本統計調査」（以下、賃金センサス）の結果から、静岡の概況（企業規模計10人以上）を確認すると、労働者数は798,350人（2021年：821,150人）で、うち男性が515,100人（同：542,740人）、女性は283,250人（同：278,420人）である。

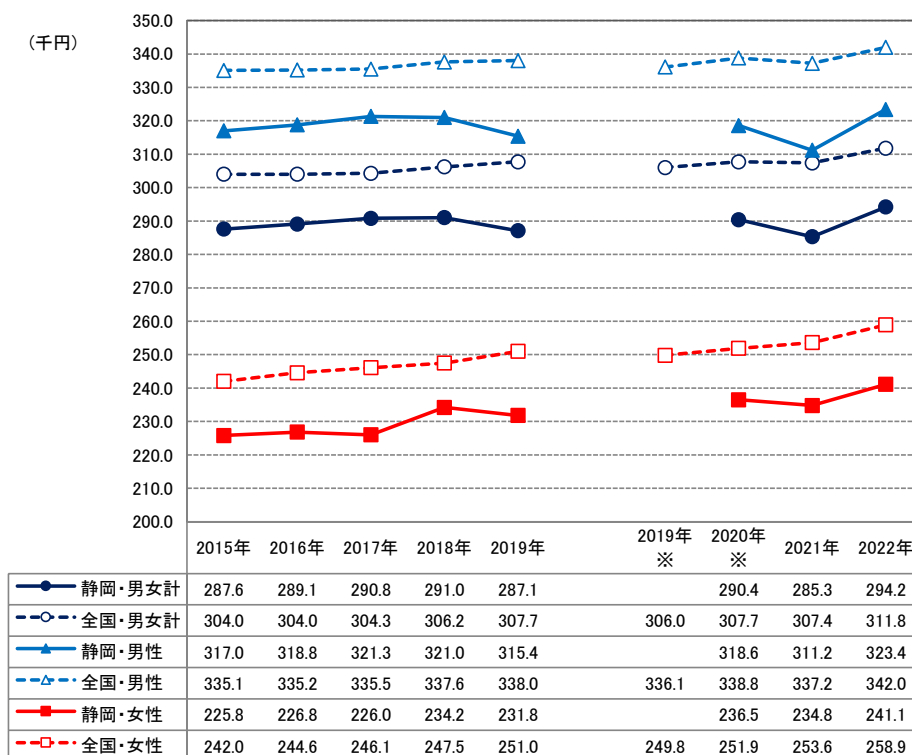
静岡の一般労働者（短時間労働者を除く）の所定内給与額は、全体で294.2千円（年齢：43.9歳、勤続年数：12.8年）となっており、男性が323.4千円（同：44.3歳、同：14.4年）、女性が241.1千円（同：43.0歳、同：10.0年）である（第Ⅲ-1図）。

2021年調査と比べると、男女ともに賃金額は増加している。

男女間の賃金格差といった点では、男性=100とすると、2020年調査以降75前後で推移しており、格差改善は足踏み状態となっている。

表は省略するが、賃金センサスの結果から静岡の一般労働者の年収額（「きまって支給する現金給与額」×12+「年間賞与その他特別給与額」）を算出すると、男性が537.8万円、女性が368.9万円と推算される。

第Ⅲ-1図 所定内給与額の推移



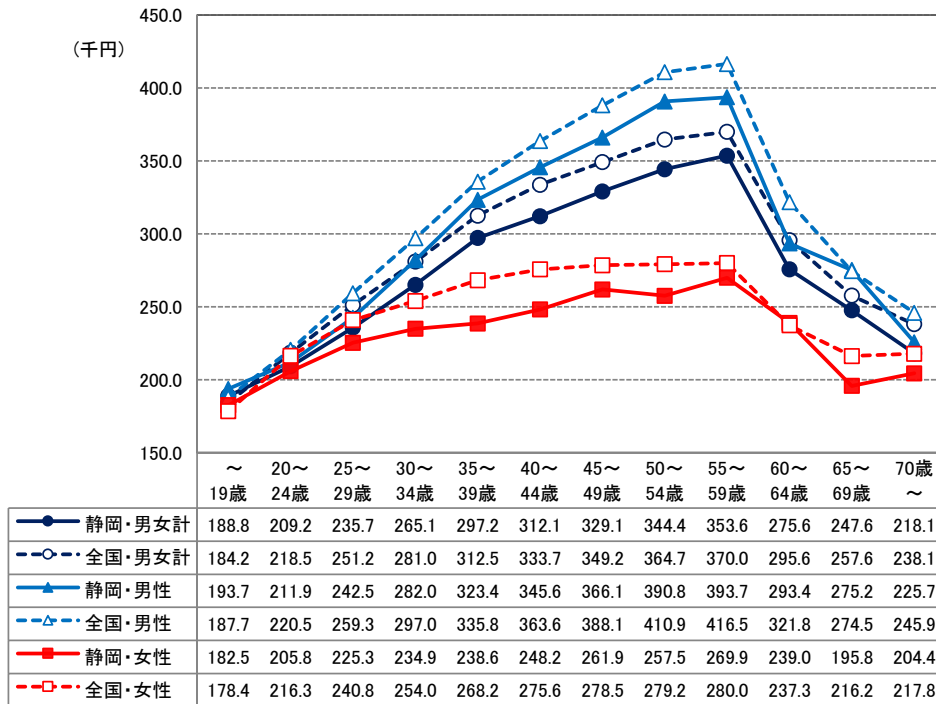
出所) 厚生労働省ホームページ「賃金構造基本統計調査」より作成。

※2020年より推計方法が変更。2019年の数値は、推計方法を合わせた再集計値。

年齢階級別に賃金額をみると、男性の場合、年齢階級の高まりとともに賃金額も上昇しており、ピークは50代後半層（393.7千円、20～24歳を100とすると186）である（第Ⅲ－2図）。一方、女性でも、男性と同様に50代後半層（269.9千円、同層を100とすると131）がピークとなっているが、40代後半から50代後半層にかけては25～26万円台とほぼ横ばいに推移している。

また、賃金カーブの傾きといった点では、女性は男性に比べて緩やかとなっており、賃金額の差も40代前半から50代後半層で10～13万円程度とより広がっている。

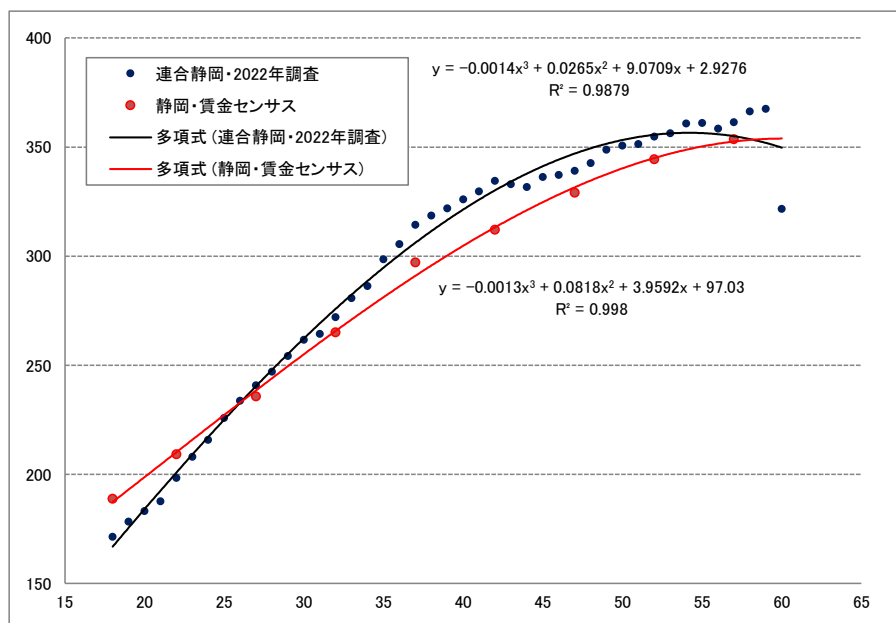
第Ⅲ－2図 年齢階級別所定内給与額



出所) 厚生労働省ホームページ「賃金構造基本統計調査」より作成。

第Ⅲ－3図 「個別賃金実態調査」と「賃金構造基本統計調査」のプロット図
(タテ軸：万円、ヨコ軸：歳)

なお、参考までに、連合静岡「個別賃金実地調査」の年齢ポイント別賃金（18歳から60歳）と、賃金センサスの年齢階級別賃金（19歳以下から55～59歳までの9階級）の双方をプロットし、賃金カーブをそれぞれ描くと第Ⅲ－3図のようになる。



出所) 厚生労働省ホームページ「賃金構造基本統計調査」より作成。

2. 性別

第Ⅲ－４図は、賃金センサスと同様な年齢階層に区分して、平均賃金を整理したものである（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）。

男性の結果に着目すると、いずれの年齢階層でも賃金センサス（平均年齢：44.3歳、平均勤続年数：14.4年、平均所定内給与額：323.4千円）を下回る水準にあり、24歳以下や40代後半から50代後半層で差が大きくなっている（連合静岡の男性：平均年齢39.6歳、平均勤続年数16.2年、平均賃金額309,043円）。なお、連合静岡調査は、公務関係組織のデータが含まれる他、賃金センサスに比べて平均年齢で5歳近く、賃金額でも1.4万円程度下回っている点をあらかじめ指摘しておく。

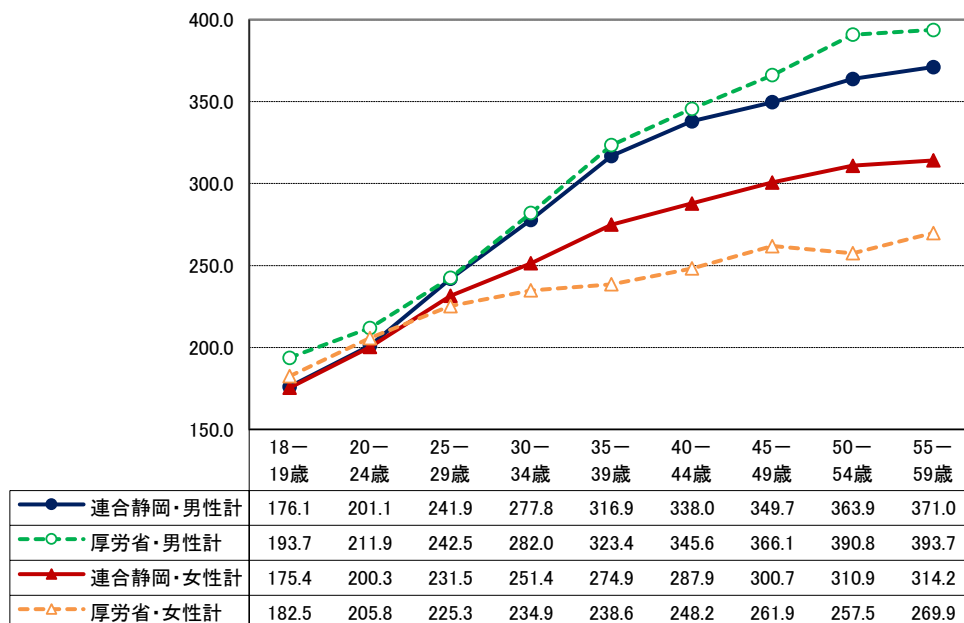
また、賃金センサスの結果をみる際には、調査対象者に部長や課長といった役職層も含まれている点、所定内給与額にいわゆる家族手当や通勤手当などが含まれている点にも留意する必要がある。

第Ⅲ－４図 年齢階層別平均賃金（単位：千円）
（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）

	全産業計			対厚労省・男性		企業規模計		
	男性計	女性計				男性計	女性計	
18－19歳	175.9	176.1	175.4	90.9	19歳以下	188.8	193.7	182.5
20－24歳	200.9	201.1	200.3	94.9	20－24歳	209.2	211.9	205.8
25－29歳	240.0	241.9	231.5	99.8	25－29歳	235.7	242.5	225.3
30－34歳	273.6	277.8	251.4	98.5	30－34歳	265.1	282.0	234.9
35－39歳	311.5	316.9	274.9	98.0	35－39歳	297.2	323.4	238.6
40－44歳	331.0	338.0	287.9	97.8	40－44歳	312.1	345.6	248.2
45－49歳	341.1	349.7	300.7	95.5	45－49歳	329.1	366.1	261.9
50－54歳	354.7	363.9	310.9	93.1	50－54歳	344.4	390.8	257.5
55－59歳	363.0	371.0	314.2	94.2	55－59歳	353.6	393.7	269.9

出所) 厚生労働省『令和4年賃金構造基本統計調査』

注) 静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額



3. 業種別・製造業の場合

第Ⅲ－5図は、製造業・男性に着目し、年齢階層別に平均賃金額を整理（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）したものであるが、連合静岡調査（平均年齢：39.6歳、平均勤続年数：16.6年、平均賃金額：312,217円）の場合、18－19歳や40代後半から50代後半層では、賃金センサス（同：43.8歳、同：16.4年、平均所定内給与額：325.5千円）との差がやや大きくなっている。ただし、20代後半から40代前半層までは、平均賃金額はほぼ同水準となっている他、その傾きも概ね同様な賃金カーブを描いている。

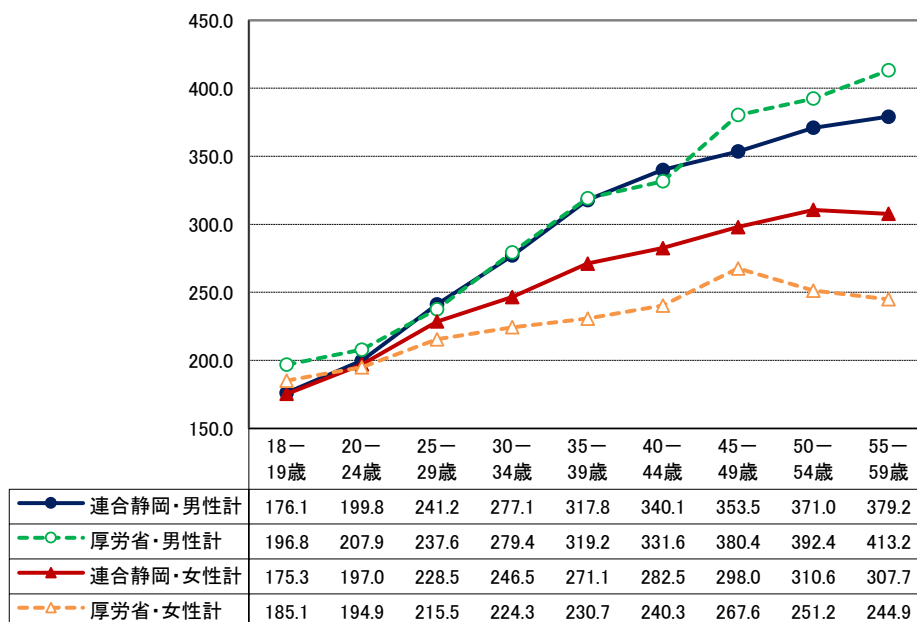
第Ⅲ－5図 年齢階層別平均賃金・製造業（単位：千円）

（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）

	製造業計			対厚労省・男性		製造業計		
	男性計	女性計				男性計	女性計	
18－19歳	176.0	176.1	175.3	89.5	19歳以下	192.2	196.8	185.1
20－24歳	199.2	199.8	197.0	96.1	20－24歳	203.5	207.9	194.9
25－29歳	239.1	241.2	228.5	101.5	25－29歳	231.3	237.6	215.5
30－34歳	272.9	277.1	246.5	99.2	30－34歳	264.3	279.4	224.3
35－39歳	313.0	317.8	271.1	99.6	35－39歳	301.0	319.2	230.7
40－44歳	333.1	340.1	282.5	102.6	40－44歳	312.6	331.6	240.3
45－49歳	344.4	353.5	298.0	92.9	45－49歳	353.9	380.4	267.6
50－54歳	361.7	371.0	310.6	94.5	50－54歳	355.9	392.4	251.2
55－59歳	370.6	379.2	307.7	91.8	55－59歳	374.6	413.2	244.9

出所) 厚生労働省『令和4年賃金構造基本統計調査』

注) 静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額



【参考 連合静岡と賃金センサスの比較】

前述のように、連合静岡・男性の結果と賃金センサス（静岡）・男性の平均額を比べると、連合静岡の賃金水準は世間水準に比べて低い、という実態を読み取ることができる。ただし、その背景には、両者のデータ特性の差（例えば、平均年齢は連合静岡が39.6歳であるのに対して賃金センサスは44.3歳、など）も大きく影響している。以下では、連合静岡・男性のうち、民間組合（86,082人、平均年齢：39.6歳、平均勤続年数：16.2年、平均賃金額：308,065円）のデータに着目し、賃金センサスとの比較を試みたい。

“ラスパイレス比較（平均値の比較に際して、比較基準の人員構成＝連合静岡に、比較対象となるデータ＝賃金センサスの構成をそろえる）”という方式を用いて、両者の平均賃金額の比較を改めて行くと、連合静岡が308,090円、調整後の賃金センサスは320,745円となる。

このように、人員構成を調整しても連合静岡の賃金水準は世間水準を下回る水準にあり、継続的な賃金水準の引き上げ、処遇改善は不可欠となっている。

参考表 年齢階層別平均賃金（単位：千円）

連合静岡(2022年調査) 民間組合・男性計				厚生労働省「令和4年 賃金構造基本統計調査」 静岡・男性計			
	全産業計 (単位:千円)	件数	平均賃金 ×件数		企業規模計 (単位:千円)	件数	所定内給与額 ×件数
	A	B	A×B		C	B	C×B
18-19歳	176.1	1,266	222,983.7	19歳以下	193.7	4,850	939,445.0
20-24歳	200.7	7,175	1,439,852.5	20-24歳	211.9	33,150	7,024,485.0
25-29歳	240.9	9,964	2,400,758.3	25-29歳	242.5	51,650	12,525,125.0
30-34歳	276.8	12,086	3,345,398.8	30-34歳	282.0	47,920	13,513,440.0
35-39歳	316.1	12,670	4,004,358.7	35-39歳	323.4	58,210	18,825,114.0
40-44歳	336.7	11,690	3,935,654.3	40-44歳	345.6	61,140	21,129,984.0
45-49歳	348.5	12,019	4,188,713.8	45-49歳	366.1	72,480	26,534,928.0
50-54歳	362.6	10,451	3,789,280.6	50-54歳	390.8	70,190	27,430,252.0
55-59歳	369.5	8,063	2,978,977.6	55-59歳	393.7	54,630	21,507,831.0
計		85,384	26,305,978.5	計		454,220	149,430,604.0
		平均値①	308,090			平均値②	328,983

出所) 厚生労働省『令和4年 賃金構造基本統計調査』
注) 静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額

連合静岡(2022年調査) 民間組合・男性計				厚生労働省「令和4年 賃金構造基本統計調査」 (静岡・男性計:連合静岡調査の人員構成で算出)			
	全産業計 (単位:千円)	件数	平均賃金 ×件数		企業規模計 (単位:千円)	件数	所定内給与額 ×件数
	A	B	A×B		C	B	C×B
18-19歳	176.1	1,266	222,983.7	19歳以下	193.7	1,266	245,224.2
20-24歳	200.7	7,175	1,439,852.5	20-24歳	211.9	7,175	1,520,382.5
25-29歳	240.9	9,964	2,400,758.3	25-29歳	242.5	9,964	2,416,270.0
30-34歳	276.8	12,086	3,345,398.8	30-34歳	282.0	12,086	3,408,252.0
35-39歳	316.1	12,670	4,004,358.7	35-39歳	323.4	12,670	4,097,478.0
40-44歳	336.7	11,690	3,935,654.3	40-44歳	345.6	11,690	4,040,064.0
45-49歳	348.5	12,019	4,188,713.8	45-49歳	366.1	12,019	4,400,155.9
50-54歳	362.6	10,451	3,789,280.6	50-54歳	390.8	10,451	4,084,250.8
55-59歳	369.5	8,063	2,978,977.6	55-59歳	393.7	8,063	3,174,403.1
計		85,384	26,305,978.5	計		85,384	27,386,480.5
		平均値①	308,090			平均値②	320,745

参考 非正規社員組合員の賃金

以下では、今回調査で集約された非正規社員の賃金実態について簡単に整理しておく。

集計対象（54 組合）となった非正規社員組合員数は 7,951 人（平均年齢：52.5 歳、平均勤続年数：8.5 年、平均賃金額：171,912 円）である。

上記のうち、男性（2,379 人）は、平均年齢が 53.6 歳、平均勤続年数が 12.1 年、平均賃金額は 198,507 円となっており、全体の 6 割強は再雇用社員（再任用職員など）が多数と思われる 60 歳以上層（1,465 人、男性の 61.6%）である。一方、女性（5,572 人）の平均年齢は 52.0 歳、平均勤続年数は 6.9 年、平均賃金額は 160,557 円である（60 歳以上層は 1,563 人、女性の 28.1%）。

なお、集計対象組合の業種区分によれば、製造業が 976 人、交通・運輸業が 106 人、商業・サービス業が 6,869 人となり、その 9 割近くが商業・サービス業に区分されている。

賃金階級別に人員分布をみると、男性の場合、28 万円台をはじめ、20 万円台から 22 万円台、13 万円台から 17 万円台と分散した実態となっている（補論-1 図）。また、女性では、14 万円台をピークに 12 万円台から 18 万円台の間に 4 人に 3 人が分布している。

非正規社員の賃金実態については、実際の詳しい勤務実態（勤務日数や勤務時間、賃金の支払い形態など）はもとより、就業調整の有無など、対象者の属性把握も含めた調査、情報収集が不可欠といえる。

補論-1 表は、年齢別、勤続年数別に平均賃金額をみたものである。

補論-1 図 賃金階級別人員分布（タテ軸：万円、ヨコ軸：人数）

